

研究課題：新生児における腸回転異常症による中腸軸捻転術後の合併症とフォロー期間に関する検討

1. 研究の目的

腸回転異常症による中腸軸捻転に対する Ladd 手術後、再発や癒着性イレウスなどの合併症を起こす症例は少なくありません。当院では術後 6 年間のフォローを定めており、フォローの現状やフォロー期間中の合併症発生状況について今までの経験をまとめることにしました。

2. 研究の方法

2014 年 1 月から 2018 年 12 月までに新生児期に腸回転異常による中腸軸捻転に対して Ladd 手術をおこなった患者さんが対象となります。
診療録から、経過、手術時間、出血量、合併症、術後フォローの様子の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から 2028 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

手術と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、調べまとめます。
画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：小児外科 科長 川嶋寛
研究分担者：小児外科 医員 松田理奈

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）